室内給気部材

天井埋込形電動給気シャッター
形　名
AT-150TQEF

取付工事・取扱説明書

この天井埋込形電動給気シャッターは気密性の高い建物で汚れた空気を排出するときに必要な新鮮な空気を取り入れるためのもので、レンジフードファンなどの換気扇に連動させて使用します。
■取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
■取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

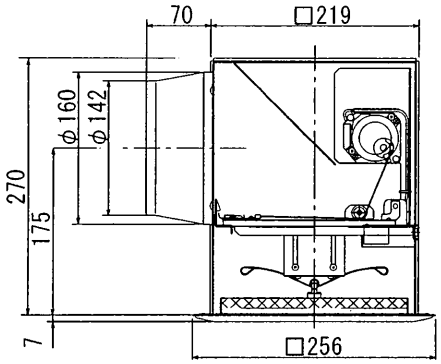
⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

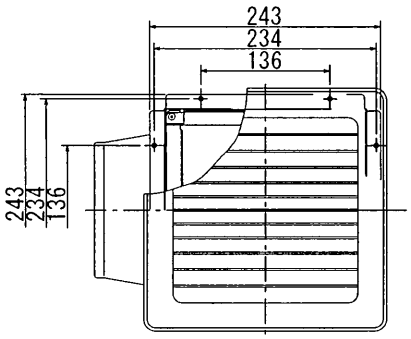
取付時	指示に従い必ず行う	**電動給気シャッターや金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接触しないように取付ける** **〔電気設備の技術基準　第 167 条〕** （接触して取付けると漏電した場合、発火することがあります）
		漏電しゃ断器を取付ける （故障や漏電のときショートや感電の恐れがあります）
取付時・使用時	指示に従い必ず行う	**交流 100V を使用する** （直流や交流 200V を使用すると火災や感電の原因になります）
	水ぬれ禁止	**製品に水をつけたり、水をかけたりしない** （ショートや感電の恐れがあります）
	分解禁止	**改造や必要以上の分解はしない** （火災・感電・けがの原因になります）
使用時	指示に従い必ず行う	**お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る** （通電状態では感電やけがをすることがあります）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

取付時	禁　止	**直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない** （火災の恐れがあります）
	風呂・シャワー室での使用禁止	**浴室などの湿気の多いところには取付けない** （漏電および故障の原因となります）
	指示に従い必ず行う	**本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う** （落下によりけがをすることがあります）
		配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う （接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります）
		本体の取付位置はガス機器の設備基準にしたがって炎の立ち消え等ガス機器への悪影響のない位置で室内が良く換気される位置とする （炎の立ち消え等で一酸化中毒を起こすことがあります）
取付時・使用時	指示に従い必ず行う	**取付け、お手入れの際は手袋を着用する** （着用しないとけがをすることがあります）
		部品の取付けは確実に行う （落下によりけがをすることがあります）
使用時	禁　止	**本体に異常な振動が発生した場合は使用しない** （本体・部品の落下によりけがをすることがあります）
	指示に従い必ず行う	**長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る** （絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）

外形寸法図





単位（mm）

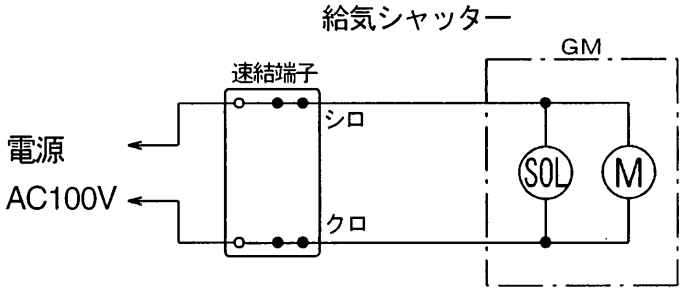
付属部品

木ネジ……８本

適用パイプ口径

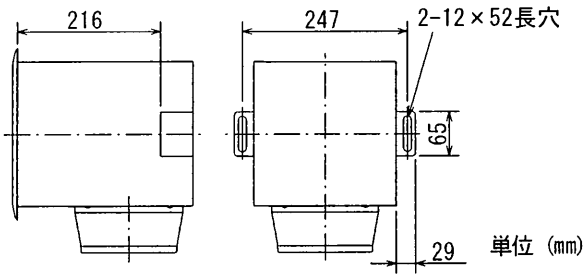
φ150

■本体結線図

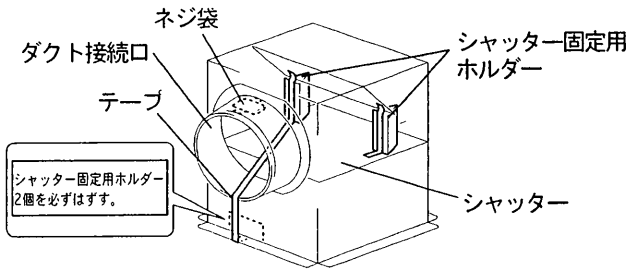


取付方法

取付前の準備



単位（mm）



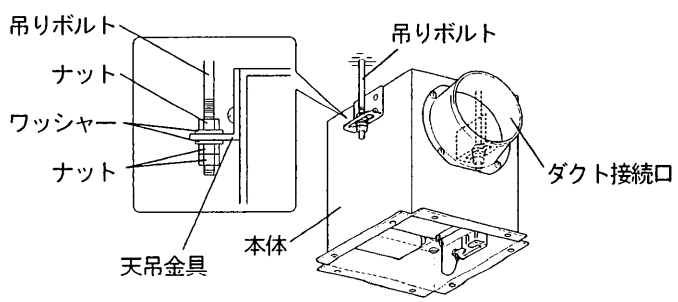
吊りボルトの埋め込み

左図の寸法で市販の吊りボルト(M８)を埋め込む。

梱包部品を取りはずす

1. ダクト接続口から手を入れてシャッター固定用ホルダー２個を取りはずす。
2. シャッターを固定しているテープをはがす。
3. ダクト接続口に止めてある付属部品(ネジ袋)をはずす。

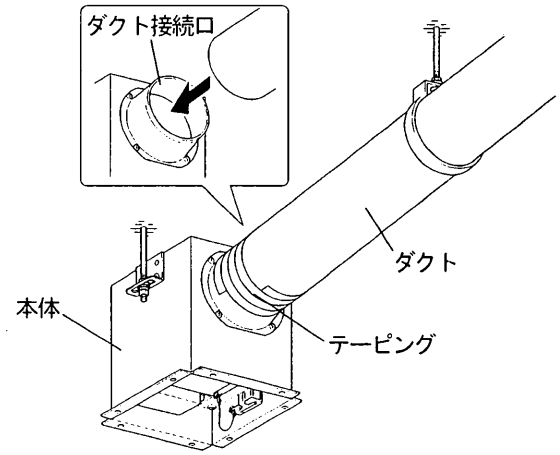
本体の取付け



本体が水平になるよう吊りボルトに天吊金具を通し、市販のワッシャー・ナットで固定する。

取付方法　つづき

ダクト接続



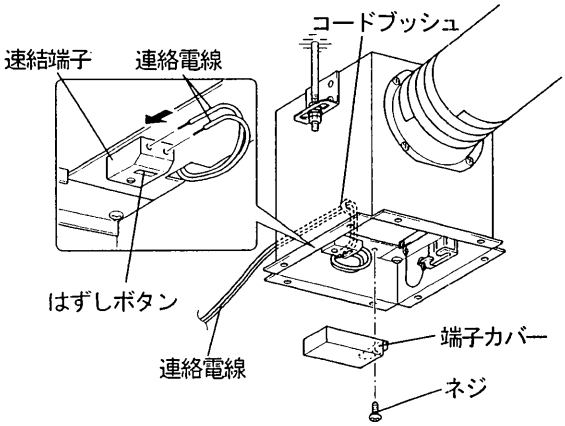
ダクトをダクト接続口に差し込んで風漏れのないよう市販のテープでテーピングする。

●ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊るす。

お願い

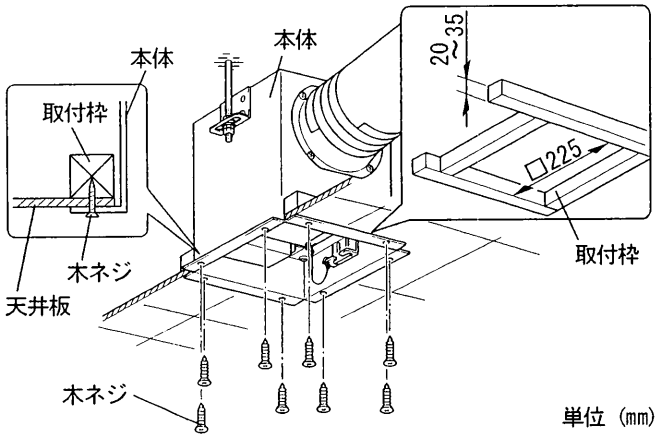
●結露の恐れのある場合は、ダクトに断熱材を巻いてください。

電気工事



1. レンジフードファンやダクト用換気扇からの連絡電線をコードブッシュを通して本体内に入れ込む。
2. ネジ１本をはずして端子カバーをはずす。
3. 速結端子に表示された色に従って連絡電線を差し込む。
4. 軽く引っ張って抜けないことを確認する。
   ●連絡電線を速結端子からはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン(白色)を押しながら連絡電線を引っ張ってはずしてください。

取付枠の組立て・天井板の張付け



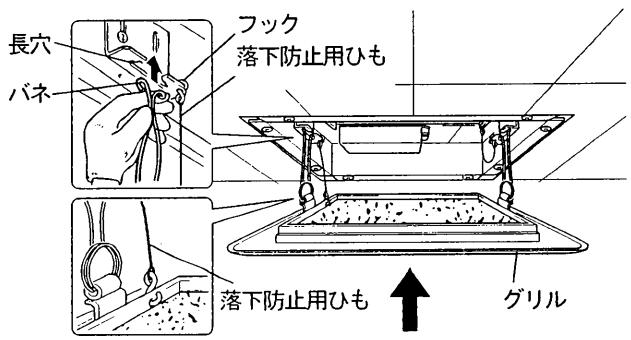
1. 内寸が左図の寸法となるよう取付枠を組む。

お願い

●取付枠の高さ寸法は20～35㎜としてください。
(高すぎると本体から出ているネジにあたってしまいます)

2. 本体フランジ部の上側に天井板を張る。
3. 付属の木ネジ(８本)で本体を確実に天井板・取付枠に取付ける。

グリルの取付け



1. 落下防止用ひものフックを本体に引っ掛ける。
2. バネを縮めるように持って長穴に差し込み、グリルを軽く押す。

使いかた

レンジフードファンやダクト換気扇が運転を開始すると、この天井埋込形電動給気シャッターが連動して開き給気を行います。停止すると連動してシャッターを閉じます。

お手入れ

グリルやエアフィルターにほこりが付着すると風量低下や異常音発生の原因になります。<u>約１か月に１度を目安</u>に清掃してください。

■お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください。

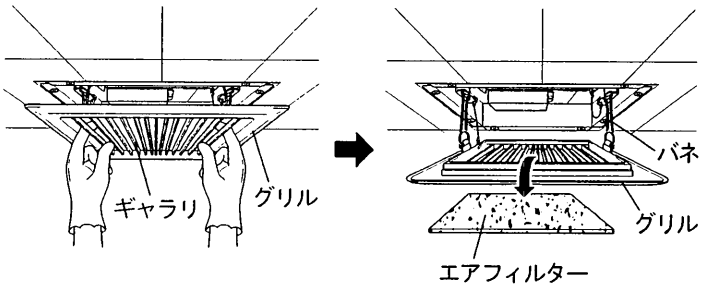
⚠警告

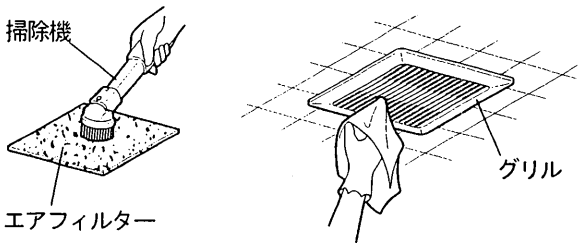
●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
（通電状態では感電やけがをする恐れがあります）

⚠注意

●お手入れの際は手袋を着用する
（着用しないとけがの原因になります）

●お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
（落下によりけがの原因になります）





1．ギャラリの左右端に人差し指をかけ、グリルを下げる。（バネで止まる状態にする）

2．エアフィルターをグリルから取り出す。

3．エアフィルターの清掃をする。
- ●軽く手でたたく、または掃除機でほこりを吸い取る。
- ●汚れのひどい場合(半年に１回を目安)は、水またはぬるま湯(40℃以下)に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。
- ●水洗い回数５～６回を目安にシステム部材(別売)の交換用エアフィルター(形名：AT-150TQF)と交換する。

4．清掃後、エアフィルターをグリルに戻す。

5．グリル表面の汚れを清掃する。
- ●中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。

お願い

●お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤（変質・変色する原因になります）

●フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことをしないでください。

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店か下記の連絡先へご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この天井埋込形電動給気シャッターの補修用性能部品を製造打切り後６年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社　メルコエアテック
〒508-8691　岐阜県中津川市駒場526-2　電話0573-66-9893　FAX0573-66-9894